

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月20日

事業所名:西海市立大島児童発達支援館

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			刺激(遊具等)を排除した、部屋を新たに整備した。 特性や年齢によって、部屋を変える等の配慮をしている。	
	2 職員配置数は適切であるか	○			非常勤児童指導員を新しく雇用した。	セラピスト・保育士、児童指導員の確保及び、職員の質の向上のための研修会開催。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			トイレを改修し車いすで使える多目的トイレを整備した。玄関、ペランダの段差についてもスロープを設置した。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			毎朝、職員全員で清掃、消毒を実施している。 日常生活に似た空間と、刺激を最低限にした部屋を使い分けている。	午前と午後のグループの遊具の消毒について、工夫が必要である。(消毒方法について)
業務 改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		業務内容について、PDCAサイクルを活用している。	PDCAサイクルを確実に実施して、業務の効率化を図る。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年度末にアンケートを実施し、結果を職員全員に周知し、改善目標としている。	今後も、年1回のアンケート調査を実施し、業務改善に努める。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人のホームページで公開している。	スマートフォンからの閲覧がしやすいように、掲示板にQRコードを貼りだす等の工夫が必要。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価が有料のため導入には至っていない。	第三者評価導入を検討する。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修や月1回のコンサルタント来所による指導助言を受けている。	令和5年度は、事業所内研修、事業所外研修への参加を増やしていく。
適切な 支援の 提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			保護者様、相談支援員からの聞き取りをおこない、児童発達支援管理責任者が草案を作成し、全職員で共有している。	
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	標準的なアセスメントは実施していない。	乳幼児発達スケールの導入を検討している。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			ガイドラインを使用して、個別支援計画を作成している。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			作成した個別支援計画書に基づき支援を行っている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月間計画は全員で立案し、日々のプログラムは、各リーダーを軸に立案しアドバイスを出し合いながら共有している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			月間計画は全員で立案し、固定化しないようにしている。	
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか		○		個別支援計画を基に、集団療育を基本とし、個別療育が必要なお子さんに対しては個別の訓練を行うよう計画しているが、まだ、実施していない。	個別対応が可能になるように、個々のスキルアップを図る。	

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			療育前には打ち合わせをおこない、リーダーと補助者として役割分担をおこなっている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			グループ終了時に必ず振り返りをおこない、情報の共有及び、記録に反映している。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の個別記録を取り、次回の療育の改善に繋げている。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか		○		モニタリングを実施している。	
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○			相談支援事業所の担当者会議が不定期であり、会議には児発管等が参加している。	ウェブでの実施も検討していく。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○		毎月1回保健師、障害福祉課、相談支援専門員とのカンファレンスを行い、連携を図っている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		医療的ケアや重症心身障害の対象児が居ない。	利用者としてきた場合には、関係機関との連携を図る。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		医療的ケアや重症心身障害の対象児が居ない。	利用者としてきた場合には、主治医との連携を図る。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○	できていない。	今後は、保育園等との情報共有を図っていく。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○	教育委員会と次年度就学児については、会議を実施して情報共有をおこなっている。	今後は、保育園等との情報共有を図っていく。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		同法人内の児童発達支援事業所からアドバイスを貰っている。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	平行通園児童が大半で、交流できていない。	保護者の同意が得られたら、実施したいと思います。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			管理者が、子ども部会に参加している。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			利用時に保護者様と療育のふりかえりをおこない、お子さんについての共通理解に努めている。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		ペアレントメンターとの意見交換会は参加できたが、支援までには至っていない。	来年度は、外部講師を依頼し、ペアレントトレーニングを実施する。	
保護者へ	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用開始時に、保護者様に説明している。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			計画書を作成し、児童発達支援管理責任者が保護者様に説明し、同意を得ている。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			利用時に、保護者様との面談をおこない助言をおこなっている。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	できていない。	来年度は、保護者勉強会や交流会を実施する。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
の 説 明 責 任 等	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付担当者、第三者委員、意見箱を活用し、苦情があった場合は面談をおこない対応している。	苦情があった場合は、迅速に対応する。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月に1回のお便りを発行している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			個人情報については施錠のできるキャビネットに保管している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お子さんに対しては必要に応じて絵カードやサイン等を活用している。保護者様に対しても口頭のみでなく、メモや文書をお渡しするようにしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	できていない。	保護者の同意が得られたら、実施したいと思います。
非 常 時 な ど の 対 応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		作成はしているが、周知が十分ではない。	周知するために、勉強会等で周知していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		火災を想定した訓練は実施できたが、地震や津波等はできていない。	来年度は、実施していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			アセスメント時に、家族からの聞き取りで確認している。	今後も保護者様へのアレルギーに関する聞き取りを徹底する。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者様への聞き取り、情報提供書を頂くなどして、対応している。	今後も保護者様へのアレルギーに関する聞き取りを徹底する。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			記録としてファイルして、職員で閲覧している。	ヒヤリハットが生じた場合は、記録を作成して、共有します。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止研修を実施している。	事業所外講師を呼び、研修会を開く。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		現在、そのような児童がいないので、記載していない。	座位保持椅子等の使用している利用者が生じた場合は個別支援計画に記載し、家族の同意を得ます。	